



平成18年

学校だより 5月 NO.2

<http://www.funakoshi-e.educity.hiroshima.jp/>

広島市立船越小学校 平田健三



オランウータンの出産

元上野動物園園長の中川志郎氏が、初めてオランウータンの出産に立ち会った時の話です。

オランウータンの出産が間近に迫り、赤ちゃんの頭が見えるようになったときです。そのオランウータンは急に上方にある格子に両手、両足で跳びつき、ハンモックのような格好になりました。中川氏をはじめ動物園の職員達は産まれてくる赤ちゃんが下に落ちては大変だと思い、わらなどの柔らかいものを敷いて待ちかまえました。

いよいよです。頭が出てくる・・・落ちる！と思いきや、へその緒で繋がっている赤ちゃんはブランコのように揺れています。母親のオランウータンは、へその緒を片手でたぐり寄せ、抱いたのです。出産は成功しました。高いところで出産するのは、そこがオランウータンにとって安全だからです。

赤ちゃんはお乳を飲むわけですが、オランウータンの乳首は母親の脇の下の方にあります。なぜそんなところにあるのか？授乳するとき母親のオランウータンは地上から樹に上がり、片手で枝にぶら下がり片手で赤ちゃんを抱いて飲ませるからです。

人間の乳頭は胸にあります。目と目、視線を合わせて抱き、授乳するためためなのです。

お乳に含まれる脂肪の割合（乳脂肪率）を見てみますと、肉食動物は10%以上、アザラシにいたっては30%以上に対し、人間のお乳の脂肪率は2.8%です。人間のお乳はうすくてよいのです。常に抱いて、常に飲ませるからです。母子密着こそが、原信頼です。

抱擁は第二の子宮とも言います。いくつになっても人間にとって抱擁は大事なのです。大人になってもです。

抱擁（母子密着）こそ原信頼です。

テレビ「寺子屋」 4月15日（土）午前5時10分より放映

「抱擁の精神こそ、子育ての原点だ」と私流に受け取りました。と同時に、ある保護者がおっしゃっていた言葉が重なってきました。「我が家では、ことあるごとに言い続けています。『あなたたち子どもが私達の大事な宝よ』」。こんな言葉を浴びて育つ子どもは幸せです。どの子どもにも心からこんな言葉をしっかりかけてやりたいものです。

ポエムのコーナー

この「紙風船」という詩は、6年国語上巻の教科書（東京書籍）のトップページを飾っています。いい詩です。この詩のよさを味わうには、2連の言葉を空白にして自分で考えてみるといいのです。（ ）の言葉が分かると、この詩の比喩表現のすばらしさが分かります。詩のタイトルがゴム風船でなく、紙風船。落ちてきたら で始まる詩の書き出し、等々。いろいろと工夫があります。なによりこの詩をくちずさんでいると元気がでてきます。（ ）の中は「願いごと」

紙風船
落ちてきたら
今度は
もっと高く
もっともつと高く
何度でも
打ち上げよう
美しい

黒田三郎

落ちてきたら で始まる詩の書き出し、等々。いろいろと工夫があります。なによりこの詩をくちずさんでいると元気がでてきます。（ ）の中は「願いごと」

かかわりあい コミュニケーションが鍵

百ます計算を以前、自分の子供を実験台にして、本当に効果があるのかを試してみたことがある。結果は、子供の才能は親と同じ程度ということが分かった。ただ、マニアル通りに時計を持つて、子供の横に付き添っていたことで、親子のコミュニケーションは格段によくなった。なるほど、学力が向上すると言われる理由の一つは、「これかと思いつた。同じような話は、「朝の読書運動」についても聞いたことがある。

子供一人で朝ごはんを食べたり、計算したり、読書したりするだけで、学力が必ず上がるはずはない。大切なのは、それをきっかけに教員や保護者が子供とコミュニケーションすることだ。「早寝早起朝ごはん」運動にしても、子供だけ早寝させて保護者が遅くまでテレビを見ていても意味がないし、朝食に手抜きのリトル食品を並べても意味がない。子供は結局、大人の鏡なのだ。

(H18.4.4) 広島市立船越小学校 平田健三

ちょっと気になるハナシ

みなさんの「気分のいい時」は、どんな時でしょうか。左の「気分のいい時」を書いたのは、小学5年の児童です・・・どんなことを感じられましたか。プールを除けば、すべて私にもあてはまります。ちなみに昔の五年生が書いた「気分のいい時」は、満塁でホームランを打ったとき テストで百点とった時 先生にほめられた時 等々でした。

気分のいい時
プールに浮かんでいる時
マッサージ機に座っている時
お風呂にはいつている時
ぼーとしている時
ねてる時
ゆぶねに入っている時
お茶を飲んでホッとした時